

令和3年6月18日

各 位

内閣府大臣官房総務課
みどりの学術賞及び式典担当室

「みどりの学術賞 受賞記念イベント」開催のご案内

内閣府では、植物、森林、緑地、造園、自然保護等に関する研究や技術開発など、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に対して内閣総理大臣から「みどりの学術賞」を授与しており、「令和3年（第15回）みどりの学術賞」は、田畑哲之氏（公益財団法人かずさDNA研究所副理事長・所長）と武内和彦氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長、東京大学未来ビジョン研究センター特任教授）の両名が受賞されました。

このたび、両氏の功績を讃えまして、7月3日（土）に田畑氏、7月18日（日）に武内氏のトークイベントを開催し、オンラインにて配信致します（詳細は別紙参照）。

ご多用中とは存じますが、幅広くご周知いただき、是非ご視聴ください。

※配信アドレスは決まり次第、日本科学未来館イベントページにて告知されます。

なお、武内氏のトークイベントは、事前の質問や、質疑を行う参加者（中高生3名程度）を募集していますので、併せて御案内します（参加者の申込みは7月2日（金）17時まで）。

＜配信アドレス・質疑者等申込はこちらから＞

日本科学未来館イベントページ

<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/>



＜受賞者の詳細はこちらから＞

内閣府「みどりの学術賞」ホームページ

<https://www.cao.go.jp/midorisho/>



＜担当＞

内閣府大臣官房総務課

みどりの学術賞及び式典担当室 東、今若

(兼 林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室)

Tel 03-3502-8243 (直通)

fax 03-3502-2887

みどりの学術賞 受賞記念イベントのお知らせ

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等にかかる研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に授与する賞です。

このたび、令和3年みどりの学術賞を受賞された田畑哲之氏、武内和彦氏のトークイベントを2回に分けて配信します。受賞者の方々のお話を聞きながら、「みどり」について考える貴重な機会となりますので、ぜひ多くの方の視聴をお待ちしています。

日時：①令和3年7月3日（土）14：00～15：00

植物の情報を読み解く！～植物ゲノム研究でわかること、できること～

田畑哲之氏（公益財団法人かずさDNA研究所副理事長・所長）

概要：研究業績の紹介を通じ、生命現象を理解しようとするゲノム研究という学問の魅力や今後の可能性についてお話いただきます。

②令和3年7月18日（日）14：00～15：00

武内先生と考えよう！ 自然も人も大切にできる社会の
つくりかた

武内和彦氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長、
東京大学未来ビジョン研究センター特任教授）

概要：研究業績の紹介と、人と自然が共生する持続可能な社会の実現に向け、
環境問題の「現在」と「これから」について一緒に考えます。

※事前の質問や当日質疑を行う参加者を募集します（参加者は7月2日17時
×切、中学生～高校生の方3名程度）。日本科学未来館イベントページより
ご応募ください。（<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/>）

開催方法：オンラインでの配信

<配信アドレス>決まり次第、日本科学未来館イベントページにて告知します。

なお、視聴は事前申込不要です。

（イベントページ：<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/>）

主催：内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）、日本科学未来館

お問合せ

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【林野庁森林利用課内】

電話：03（3502）8243 FAX：03（3502）2887（担当：東、今若）

みどりの学術賞ホームページ <https://www.cao.go.jp/midorisho/index.html>



田畑 哲之（たばた さとし）



公益財団法人かずさ DNA 研究所 副理事長・所長
「光合成生物ラン藻のゲノム解読に始まる植物ゲノム科学の
推進と持続的農業生産系への展開」に関する功績

光合成生物として初めてとなるラン藻の全ゲノム解読を発表し葉緑体を持つ植物の光合成機能の理解に大きく貢献した。さらに、国際的な取組によるシロイヌナズナの核ゲノム解読に大きな役割を果たし、ラン藻の遺伝子の植物の核への移行を発見するなど植物ゲノムの進化に多大な知見を与えるとともに、作物の多様な遺伝子機能を理解する基盤を築いた。さらに、マメ科植物における根粒菌との共生メカニズム解明に貢献し、窒素肥料の使用量が少なく環境に与える負荷が低い作物開発への展望を開くとともに、植物ゲノム情報のデータベースを整備した。これらの成果により、植物ゲノム科学の分野を開拓し、ゲノム情報を基盤とした持続的農業生産系の開発促進に大きく貢献した。

武内 和彦（たけうち かずひこ）公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長、



東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
「人と自然が共生する社会（自然共生社会）の実現に向けた地
域生態学の実践とサステナビリティ学への展開」に関する
功績

客観的で定量的な環境保全機能の評価に基づく総合的な地域環境管理計画手法を提案し「地域生態学」の分野を確立するとともに、里地・里山の景観構造や生物多様性の維持機構に関する研究を進め「SATOYAMA イニシアティブ」を主導するなど、二次的な自然生態系の保全と利用の重要性を国内外に発信した。また、研究成果を持続的な社会－生態システムの再構築を目指す「サステナビリティ学」へと展開し、FAO（国際連合食糧農業機関）の世界農業遺産認定の活動を学術面から支援するなどその社会実装を後押しした。これらの成果と卓越した発信力により、人と自然が持続可能な社会の実現に向けた研究を先導し、各地の持続可能な地域環境づくりの活動の拡大に大きく貢献した。

みどりの科学コミュニケーターをよろしくお願ひします

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）では、日本科学未来館の科学コミュニケーターを、みどりに関する科学的な知見を分かりやすく伝える「みどりの科学コミュニケーター」に任命しました。各種イベントや「科学コミュニケーターブログ」(<https://blog.miraikan.jst.go.jp/>)などで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。

（田畑先生のご紹介ブログ）

近日公開予定

（武内先生のご紹介ブログ）

<https://blog.miraikan.jst.go.jp/articles/20210430post-414.html>



令和3年度みどりの科学コミュニケーター

（左から、綾塚さん、上田さん、
遠藤さん、深津さん）